



—活動報告—

中東情勢講演会：イランから見た日本と米国

7月31日(14:00-15:30)、フォーリン・プレスセンター「会見室」にて、下記のとおり中東情勢講演会を開催しました。

講師：小島信明・三菱商事株式会社常勤顧問／中東調査会顧問

演題：「イランから見た日本と米国」

1970年代(革命前)、1980年代(革命後、イラン・イラク戦争時)、2000年代(戦後)の3つの時代を現地で経験された講師より、各時代の現地の状況やその歴史的な背景についてお話いただきました。また、100年間のイランの歴史のなかで形成されてきたイランの対米認識、対日認識についてもご講話いただきました。質疑応答では、イラン人の対アラブ認識、対イスラエル認識や、核開発問題、日本との環境分野における協力等についての質問、応答がありました。



講演内容は講師個人のものであり講師の所属先の立場や見解や認識等を代表するものではありません。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799